



**宮私幼PTAだより**

第103号

発行 者 連 合 会  
 宮私幼PTA (会長 佐々木幸士)  
 (編集 佐々木集委員 廣報 事務局)

仙台市青葉区国分町三丁目6-12 F  
 佐正第二ビル6F  
 電話 (022)263-7040

# 健やかな成長への願いと

## 毎日への感謝の気持ち



宮城県私立幼稚園PTA連合会

会長 佐々木 幸士

長らく私たちの生活に制限をもたらしてきた新型コロナウイルスも収束の方向に向かい、昨年五月、その位置づけが五類感染症に移行したことで、各幼稚園の活動も昨年は力強く再始動した一年となりました。保護者の皆さまにおかれましてはご自身の子育ての始まりが、コロナ禍の始まりであった方も多いかと思えます。常に日常と隣り合わせとなっていた感染予防の数々がなくなりつつある生活は正に劇的な生活環境の変化とも受け止められていると思います。

遠足をはじめ運動会やお遊戯会など幼稚園行事への参観や運営にご協力をいただきました保護者の皆さまも子どもたちの目を輝かせた奮闘ぶりや、様々な制限や我慢を強いられてきた状況から、やりたいことを存分に行い、その嬉しさを素直に表現する子どもたちの日々の成長を実感した一年であったかと思えます。

コロナ禍以前には当たり前に行ってきた幼稚園行事の再開にあためて実施できる喜びをかみしめるとともに、各行事の開催にあたり子どもたちのために熱い情熱をもって準備に取り組み、保護者との調整にもご尽力いただきました園長先生をはじめ、教職員皆さまにあらためまして心より感謝を申しあげます。

本年一月一日、石川県能登地方を震源とする地震が発生しました。お亡くなりになりました方々に心よりお悔やみ申しあげますとともに、被災された皆さまにお見舞いを申しあげます。一連の報道のとおり被災地では水や食料不足が深刻化、電気・水道・ガスの生活インフラをはじめ携帯電話・固定電話・インターネットなどが通じない地域や繋がりにくい状況が続きました。

宮城県においては東日本大震災の発災から今年の三月十一日で十三年目を迎えます。私たち世代は

あの時のことを鮮明に記憶しております。各ご家庭においても、被害を減らすための準備や災害直後に必要とする備え、災害後の安全な行動や携帯電話が通じない場合の家族の連絡方法などを再確認して参りましょう。

さて、この宮私幼PTAだよりが発行される三月は子どもたちが卒園や進級を間近に控えている時期かと思えます。保護者の皆さまにおかれましてはお子様のご卒園ご進級、誠におめでとございます。

年長児の保護者の皆さまは、卒園するお子様の成長した姿に喜びを感じる一方で、小学校生活への期待と不安も交錯していることでしょう。また、年中・年少児の保護者の皆さまは、お子様の言葉や行動に表れる一年の変化に目覚ましい成長を実感し、喜びを感じていることと思えます。

保護者の皆さまにおかれましては、仕事と家庭の両立で忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが、今この日々の積み重ねは人生にとつてかけがえのない時間であると思えます。お子様に目を向けるお気持ちと合わせて、PTA活動に對ししても、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

子どもたちの健やかな成長を何よりも願い、そして、あらためて心に刻むべき災害への備え、私たちにとりまして、当たり前に感じる日常は決して当たり前ではない。そんな毎日に感謝しながら、皆さまともに思いを一つに、また一年、大切に過ごして参りましょう。

### 参加報告

## 第三十七回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会

宮私幼PTA連合会副会長  
 お人形社第二幼稚園(T)

横澤行夫



令和六年二月五日、東京・私学会館にて全日本私立幼稚園PTA連合会

主催の全国大会が開催され、宮城県より、副会長の佐藤由理さん(成田中央幼P)、常任委員の尾本真澄先生(成田中央幼T)と私・横澤の三名と宮私幼連合会の鎌田文恵理事長が参加いたしました。

今回は、全国大会の前に、国会議員との懇談会があり、幼児教育議員連盟に所属している宮城県選出の衆議院議員、土井亨先生、西村明宏先生が出席され、宮城県の幼稚園の現状をお話し、これに伴い政府への要望等をお願いしました。土井先生は、娘さんが現在、幼稚園の先生をしているそうで、よく現状を認識しており、今後の課題として、しっかりと受けとめていただき、党に戻って議員連盟の先生方と政府に対し、働きかけをしていきますと話されました。

午後から同会場にて全国大会が始まり、あべ俊子文部科学副大臣や、自民党幼児教育議員連盟会長の中曽根弘文氏等の挨拶があり、皆さんの声をしっかりと受けとめ、子育て支援の政策に反映させていきたいとのコメントをいただきました。



第二部は、料理研究家の土井義晴氏の「料理して食べること」のテーマで講演がありました。「生きるために毎日しないといけない労働の基本は、料理であります。料理こそ都会でも自然とつながりを感じる行為であり、人工知能(AI)の時代でも、自分の頭と体を使う実践なのです。人間は料理する動物です。料理によって脳を大きくして余暇を知り、時間を得たのです」と哲学的なお話の講演でした。

# 宮私幼教育振興大会・

## 宮私幼PTA研修大会について

宮私幼PTA研修部長  
ドリーム幼稚園(P)

大久保 加奈



昨年十二月一日に、令和五年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会、第五十回PTA研修大会が開催されました。

第一部の振興大会では、三つの大会宣言がされました。また、来賓の方々からご挨拶・ご祝辞を賜り、宮城に住む親と子が多くの方から支えていただいていることを感じ、これからも感謝の気持ちを持ち続け、微力ながら私にできることを全うしたいと思えました。

第二部の研修大会では、宮城教



香曾我部 琢先生に

育大学教授 香曾我部 琢先生にお越しいただき、「子どもたちの自発的な活動を見守り、支えながら育てよう」と題した講演をしていただきました。

前半部分の「パッケージ化された教材で成績が良くなるのであれば、世界中みんなやるはず」とのお言葉に、大きな驚きと急に腑に落ちた感覚を覚えました。

また、英会話についても、早ければ早いほど身につくのだとは思っていましたが、二・三歳は母国語の語彙力を高めることが大切で、遊びの中で積み重ねることが有効とのことでした。私はこれまで、遊びと勉強を分

けて考えていきましたが、「遊びの中で学んでいくことが効果的」ということを、講演会の中ではたびたびお話しされていきました。

一つの遊びを長期間にわたり、発展させながら続けることで、数や言葉、計算や日付などを学ぶことができ、遊びの中で学習することが有効であり、子ども自身が考え・実行することが重要だと学ばせていただきました。

子どもたちには、ついついやり方を教えてしまったり、アドバイスしたりしてしまいましたが、これからは、新しいことを自分の力で知ること・自分で考え問題を解決することは楽しいと知ってもらえるよう、見守ることを重視し、子どもの遊びの環境を整えたいと思います。

今回貴重なお話を聴かせてくださった、講師の香曾我部先生には、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後に、この紙面をおかりして、振興研修大会の開催及びPTA連合会の活動にご尽力いただいている皆様にも、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。



講

### topics

以前研修大会の講師として講演をお願いしたことがある阿部静子さん(フリーアナウンサー・整理収納アドバイザー)が、三冊目の本を出版しましたのでご紹介いたします。

「自分を好きになる片づけの法則」(ぼる出版発行千五百四十円) 阿部さんは、「三冊目となる今回の本は、自分を好きになる88の片づけの法則を紹介しています。ワクワクきうき片づけられるような内容です」と述べています。

前文に「今でこそ片づけの指導をしています、私自身以前はとも片づけが苦手でした。そんな自分を変えたいと一念発起し、整理収納アドバイザー2級の資格を取得し、片づけの基本的な考え方を学びました。すると、だんだんと家が片づいていったのです。片づけられるようになります」と



面白い!毎日あちこち片づけてワクワクきうきする日々になりました。フリーアナウンサーとして長年「伝える」仕事をしてきた私は、片づけの持つ力をできるだけ多くの方に届けるのが使命のように感じ、すぐに片づけ講座を開きました。すると受講生はほとんど片づけられるように、さらに前向きになり、「初めて自分を好きになりました」「自信ができました」と言ってくださるのです。この出来事が、私に片づけで自分を好きになれることができると教えてくれたのです」と書いておられます。

88の片づけの法則を、第一章〜第八章に分けて、わかりやすく書いておられます。阿部さんは、令和2年から3年連続整理収納アドバイザー優秀講師として表彰され、令和2年には整理収納コンベンションプロ部門ファイナリストにも選ばれております。是非お読みいただけますようご推薦申し上げます。

著書に、「ハンカチは5枚あればいい」(すばる舎)、「だから、50歳から片づけるー思い出のものは捨てなくていい」(メディアハウス)が、あります。

(文責・副会長 横澤行夫)

# 会員の声



## 子どもの成長を 間近で感じられる喜び

成田中央幼稚園(P) 佐藤 由理



成田中央幼稚園では、コロナ終息以来4年ぶりのPTA活動再開となり、私たちが全力で楽しむことを掲げて頑張っています。そんな中、参加した2つの行事を紹介します。

まず初めは運動会です。当日のサポートだけでなく、園児たちの一生懸命頑張る姿を間近で感じることができました。また、園児たちの団結力はもちろん、互いを応援する思いやりの心が育まれていることがとても感動的でした。次に園長先生の一声で役員として参加することになった秋まつり。やるからには本格的に、でもコスト削減のため、無料提供のレーザーキーホルダーやポーチ等を製作することにしました。作業に数日要したものの作家さん指導の下、楽しく作業でき、役員同士の仲も一層深まりました。



満たされる行事となりました。最後に、PTA活動とは子どもたちと関わり、成長を間近で感じられる最高の場所です。残り少ない園生活も楽しんでいきましょう。

## 子どもの命を守るために

小鳩幼稚園(P) 早坂 直大



令和五年十二月十日、大崎地区PTA研修行事で小鳩幼稚園・千手寺幼稚園

の親子を対象に古川消防署の庁舎見学と救急講習を受講させていただきました。子どもたちは初めて間近で見る消防車や救急車に目を輝かせており、梯子車の梯子を実際に伸ばした場面では、想像以上の高さに大きな歓声が上がりました。

これをきっかけにして、私たちの命や財産を守ってくれる消防士



## お店屋さんごっこ

太陽幼稚園(P) 佐藤あかり



十月下旬、今年もお店屋さんごっこが開店しました。お店屋さんごっこは、店員さんとお客さんを交代しながら、どちらの役割も体験して楽しむことができます。

ホールには、各クラスで決めた食堂、お祭りの屋台、お菓子屋さんが並んでいます。お店のディスプレイや店員さんの衣装も本格的です。店員さんの「いらっしゃいませ」という元気な声がホールに響いていました。

今年は、係のお手伝いもあり初めて参加しました。保護者のみなさんと、本物の綿あめやポップコーン、わなげの店員さんになり、お客さんが手作りのおさいふとお金で楽しくお買い物をしていました。飲食スペースで、買った綿あめやポップコーンをおいしそうに食べている姿が見られました。

お店屋さんの商品は、どれも本物そっくりで、先生方や子どもたちが一生懸命作ったことが伝わってきます。いつも準備や用意をしてくださっている先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。



第四十六回親善バレーボール大会報告

大人の部活！  
お母さんたちの年に一度の真剣勝負！



宮私幼PTA体育部長  
八幡花園幼稚園(P) 大場和晃



十月十七日に  
利府町にある宮  
城県総合運動場  
セキスイハイム  
スパアアリー  
ナで第四十六回宮私幼PTA連合  
会親善バレーボール大会が行われ  
ました。先んじて九月十一日に行  
われた代表者説明会と組み合わせ  
抽選会では各チームから審判団へ  
多くの質問や確認があり、その時  
点で参加者の並々ならぬ熱意が伝  
わってきました。更に、当日の入  
り口の開錠の際にも長蛇の列が出  
来ており驚かされました。

チームの待機場所の場所取りや  
スムーズにウォーミングアップを  
始めるためのようです。すでに戦  
いは始まっていたのです。  
開会式には多くの大会役員  
の方々が出席し、みやぎ幼稚園バレー  
ボール部主将の藤村千代美さんら  
三名による頼もしい選手宣誓の後、  
試合が始まりました。チーム一丸  
となりボールを追いかけ、チーム  
で声を掛け合いながら集中してい  
る姿は緊張感があり、見ている方  
も熱い戦いに引き込まれていきま  
した。プレーヤー同士の掛け声や  
歓喜の声が各コートで響き、そし  
て今年から解禁された声出し応援



も加わります。特に会場に駆け付  
けた園児たちの可愛らしい声援が  
会場を沸かせていました。普段は  
お互い見ることにはないであろう真  
剣な表情や、様々な感情の共有な  
どはチームスポーツの魅力のひと  
つと言えると思います。各コート  
で響く声や一喜一憂している姿を  
少し羨ましく感じました。  
余談ですが、この大会の後、私自  
身もバレーボールを未経験ながら  
始めてみました。レシーブの難しさ  
や、隣の方との連携ミスによるボ  
ールの落下など失敗も多いですが、  
そんな中で少しずつ上達する喜び



や、チームの皆と共に楽しくプレー  
する時間は何物にも代え難い貴重  
なものだと感じます。同じように  
興味を持たれた方にもぜひ挑戦し  
てほしいと思います。新たなリフ  
レッシュの場となること間違いあり  
ません。そして、この大会こそが  
日々の練習の目標であり、成果を  
発揮できる場所なのだと感じます。  
閉会式では優勝チームと準優勝  
チームに賞状とトロフィーが授与  
され、佐藤園子理事長から審判団  
を代表としての講評が述べられ、  
大会は幕を閉じました。大きな怪  
我や事故もなく安全に終えること  
が出来たのは、運営に携わった皆  
様や、ルールだけでなくマナーや  
モラルを守った選手の皆様、宮城  
県レディーズ家庭バレーボール連  
盟の審判団の方々の多大なご協力  
であり、さらには宮城県議会議員  
選挙中でありながら、佐々木幸士  
会長、渡辺勝幸副会長、伏谷修一

副会長にもご出席頂きました。皆  
様にこの場を借りて心から感謝申  
し上げます。最後に、今大会以降  
もOGの参加が可能です。優勝チ  
ームは連覇を狙い、敗れたチームは  
更なる飛躍を目指すことでしょう。  
第47回大会でも更なる多くの  
チームの参加と熱戦に期待し、皆  
様にお会い出来ることを楽しみに  
しています。



第四十六回親善  
バレーボール大会入賞チーム

コート	優勝	準優勝
A	わかくさ	七郷
B	若竹	西多賀
C	ふくだまち	利府聖光
D	多賀城高崎	こどもの国
E	さいわい	第二向陽台

令和六年度 行事予定

▼宮私幼PTA総会  
期日 令和六年六月十一日(火)  
会場 トイクネットホール仙台  
(仙台市民会館) 地階小ホール

▼宮私幼教育振興大会並びに  
PTA研修大会  
期日 令和六年七月五日(金)  
会場 東京エレクトロンホール宮城  
(宮城県民会館) 大ホール

▼宮私幼PTA親善バレーボール大会  
期日 令和六年十月十二日(火)  
会場 セキスイハイムスパアアリーナ  
(利府町・グランディ21)

令和五年度 編集委員

- 副会長 渡辺 勝幸 (六郷P)
- 副会長 横澤 行夫 (お人形社第二)
- 広報部長 横澤 健史 (お人形社T)
- 広報副部長 西井真理江 (お人形社P)
- 広報部員 佐々木拓真 (ミルワルト)
- 広報部員 高橋 美貴 (大河勢ドラッグT)
- 広報部員 佐藤 正幸 (葦の芽星谷T)
- 広報部員 佐々木栄悦 (登米T)
- 広報部員 奥津 恵 (長浜T)
- 広報部員 齋藤 千佳 (太陽T)
- 広報部員 鈴木 絵梨 (太陽P)
- 広報部員 遠藤 美嗣 (葦の芽星谷P)
- 広報部員 菅原 達徳 (登米P)
- 広報部員 長瀬 辰哉 (長浜P)
- 広報部員 菅野 若菜 (大河勢ドラッグP)